

各地区 地域支え合い会議 ニュースレター (最新号)

越ヶ谷地区	…	1
川柳地区	…	2
桜井地区	…	3
新方地区	…	4
荻島地区	…	5
増林地区	…	6
大袋地区 (千間台西エリア)	…	7
大袋地区 (北部市民会館会場)	…	8
蒲生地区	…	9
北越谷地区	…	10
南越谷地区	…	11

会議で『一緒に考えたい』と思った方は、ぜひご連絡ください。

○問合せ○

越谷市社会福祉協議会

地域福祉課 黒沢

☎048-966-3411

チョット
会おうよ
話そうよ

越ヶ谷地区

地域支え合い会議

2022.7 Vol.4

第2回 「チョット会おうよ♡話そうよ♡」開催

6月24日(金)・25日(土)の二日間の日程で赤山町一丁目自治会館を会場に、第2回目となる居場所づくりのイベントを開催しました。

▼会場の赤山町一丁目自治会館



両日共に天気恵まれ、猛暑の中二日間延べ55名の来場がありました。24日は赤山本町にあるコスモ薬局の薬剤師の皆さんにご協力いただき、骨密度や血管年齢の測定、健康相談を実施しました。25日は赤山町一丁目にある整骨院はあべすとの先生によるかんたん体操や口腔体操を行いました。

“会って話す”

大切さ

会場では「久しぶり」「元気にしてた?」という声が聞こえてきたり、順番待ちで同じ席になった初対面の方同士で楽しそうにお話されている様子が見受けられました。来場者の方は自治会館のある赤山町周辺にお住いの方がほとんどでしたが、昨今の社会情勢において、身近な場所に住んでいても人と関わる機会が限られており、そうした中で「今回のイベントを通して新しい友達ができた」「久しぶりににぎやかな場でお話ができ嬉しかった」「楽しかった、来てよかった」という感想をいただくことができました。アンケートでもほとんどの方が非常に満足または満足に丸をつけてくださいました。

旗を見て立ち寄ってくれた方も



▲理学療法士の先生によるかんたん体操



▲健康相談の順番待ち中に談笑する皆さん

今後に向けて

第1回の開催が悪天候であったため、比較検証の意味も込めて同じ内容で開催した第2回イベントでしたが、盛況のうちに終了することができました。

今後も今回の反省を活かしながら、他の自治会様にもご協力を仰ぎ、越ヶ谷地区の居場所づくりに取り組んでいきます。越ヶ谷地区地域支え合い会議の活動に興味がある・自分の自治会でも「チョット会おうよ♡話そうよ♡」をやりたい!と思われる方は、ぜひ社会福祉協議会までご連絡ください。

たくさんのご参加。
ご協力ありがとうございました!
1

川柳地区 地域支え合い会議

Vol.5
2022.11

NEWS LETTER

叡明高等学校（越谷市レイクタウン）の学生に協力をいただき、令和4年10月30日（日）、老人福祉センターひのき荘で「スマホお悩み相談会」を開催しました。

叡明高校生が “スマホ講師”

「相談会」でスマホの操作教えます



叡明高等学校 学生ボランティアによる スマホお悩み相談会

主催：川柳地区地域支え合い会議

相談会に参加してスマホの悩みや不安を一緒に解消しましょう！

日時：令和4年10月30日（日）
午後1時30分～3時

会場：老人福祉センターひのき荘
1階 会議室

スマートフォンでこんなお悩みありませんか？

- 写真の送受信や保存方法、動画の撮り方やネットの検索方法など、悩みは個々人様々でした。
- 「スマホの操作が難しい」「時間がかかりすぎる」「音が小さい」「画面が暗い」「アプリのインストール方法がわからない」など、様々な悩みがありました。

【問合せ】越谷市社会福祉協議会 地域福祉課 ☎048-966-3411

【地域の高齢者に向けて】

「スマートフォンの方
がわからない」といった地域の高齢者の方々からの声から、地域支え合い会議では、老人福祉センターひのき荘を活用し、相談会を実施しました。

スマホに興味を持った 高齢者が多数

参加者数は22名で、70歳代が最も多く、80歳代の方も4人訪れ、**高齢者のスマホのニーズの高さがうかがえました。**



叡明高校からは、14人の学生が協力し、**参加者と一緒に悩む姿勢**で実施されました。

一人一人に、じっくり時間をかけて

悩みが解決した方から順番に入れ替え、**学生が参加者にマンツーマンで対談**することができました。

お悩みは多種多様

参加者はゆっくり悩みを話すことができ、学生は自分のスマホやタブレットで調べながら答えることができる、落ち着いた雰囲気の中で和やかに臨むことができました。



写真の送受信や保存方法、動画の撮り方やネットの検索方法など、悩みは個々人様々でした。参加者からは、次回の相談会の開催を望む声がありました。

【編集後記】
今やスマートフォンは、私たちの生活を支える手段の一つになっています。ご高齢の方々にとって、進化し続けるICTの活用には、“人の手助け”が必要になることがあります。
地域支え合い会議では、そんな“手助け”となるアイデアを持ち寄り、具体的な取り組みを進めています。会議への参加等、ご興味ある方は是非、お問い合わせ下さい。

2 ☎966-3411 (社協 小林)

“世代を越えた交流”は、どの地域でも課題の一つとなつていきます。しかし「スマホ」というキーワードが共通の話題となり、年齢が50歳以上違えども、会話が弾んでいく姿が見られ、今後の地域活動への展開に、大きな第一歩となりました。

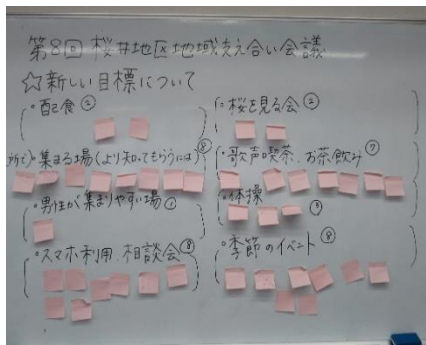
NEWS LETTER

令和4年度から、住民相互の支え合い活動である「桜井笑顔の会」が本格始動となり、ボランティアの皆さんが様々な困り事の相談を受けながら活動を続けています。そんな中、桜井地区地域支え合い会議では新たな活動目標の検討を始めました。



コロナ禍で
交流がより重要に

まず、アイデアを共有し、関心の高いものをピックアップしたところ、**通いの場**に関するものが多く、「サロンが休止となり、交流の機会が少なくなっている」「地域で通いの場があるといい」との意見も挙がりました。そこで、**交流の場づくり**を新たなテーマとし、協議を進めていくことになりました。また、様々な形の通いの場として、**オンラインカフェ**（認知症の方や、その家族が集い交流する場）の情報もメンバーで共有し、理解を深める機会も設けました。



様々なアイデアが出されました。

新しい居場所の
立上げに向けて

まずは会場についての意見交換が行われました。候補として自治会館や交流館等が挙げられ、会場選びのポイントが「誰でも通いやすい場所」であることを再確認しました。今後の地域支え合い会議は立上げに向けて、担い手の確保や開催時期など、具体的な協議を進めていきます。

新しいふれあいサロンが生まれました



今年夏、ふれあいサロン『四つ葉のクローバー』が誕生しました。アコーディオンの演奏に合わせて歌を歌ったり、童心にかえり紙芝居を楽しんだりと暖かな時間が流れています。自治会館での開催ですが、自治会外の方でも自由に参加できることも魅力です。

「桜井笑顔の会」を立ち上げ、新たに交流の場づくりに向けて動き出した地域支え合い会議。これからの活動が地域交流を活発にするきっかけになるよう、皆さんで協議を進めていきましょう。ご興味のある方は、お気軽にご連絡ください。

3 966-3411(社協 松原)

桜井笑顔の会、活動中!

桜井地区の皆さんのちょっとした困り事をお助けしています。

令和4年度活動件数(11月末現在) 40件
☆活動例…ゴミ出し 掃除 草取り 等

お問い合わせ お気軽にお電話ください
090-8577-3961 (毎週火曜日13時~15時)



積極的に意見交換をしています。

新方地区 地域支え合い会議 News Letter Vol.4 2022.9



住民のニーズに応え
移動スーパーとくし丸
運行スタート!

地域支え合い会議の立ち上げ時から、新方地区では「買い物支援」について話し合いを進め、買い物アンケートの実施や、荻島地区へのとくし丸見学などを行ってきました。そしてついに、「ここの新方地区でも週2日、とくし丸の運行がスタート!」プレオープンを経て、8月11日(木)から本格始動しました。買い物支援を必要とする場所全てにはいかないかもしれませんが、会議の目標であった「買い物支援への取り組み」を達成することができました。



施設利用の皆さんにも好評!
(キャンベルホーム)

喜びの声

実際にとくし丸を利用される方からは、「思ったより品揃えが豊富でびっくりしました。」
「買い物に行くのも難しく、困っていたから本

当に助かっています。」と喜びの声があがっていました。また、公園や自治会館前などの駐車場では、みなさん気あいあいと、買い物だけでなく、おしゃべりも楽しまれました。

コロナ禍で外へ出る機会が減り、ご近所同士の関わりも少なくなってきましたが、とくし丸を通じて、人との関わりや、見守りが生まれています。



ご近所さんとおしゃべりも楽しみの1つ♪
(船渡睦町会・いるか公園)

今後の会議

今後、新方地区では、以前より会議で挙がっていた「スマートフォン」に関する内容を進めていく予定です。

「興味がある」「一緒に考えたい」と思った方は、是非会議へご参加ください。

越谷市社会福祉協議会
地域福祉課 海和
☎966-3411



とくし丸

新方地区では主に
火曜日・金曜日に販売!
(一部を除く)



NEWS LETTER

高齢者のスマートフォン活用に向け スマホ講座を「模擬」体験 会議メンバーで「楽しさ」を共有

4月26日に地域支え合い会議を兼ねたスマホ入門講座を実施しました。

今回体験したのはソフトバンクさんの取り組みを活用したスマホ入門講座。講師が用意したiPhone端末を使って、写真や動画の撮影、地図アプリの活用方法等を学びながらスマホの「楽しさ」や「便利さ」を体験しました。



5名のスタッフの皆さんから楽しく丁寧な指導を受けることができました

スマホを活用している方から、初めてスマホに触れる方まで楽しむことができるプロ

グラムに時間を忘れて夢中になる様子が印象的でした。



「自撮り」のポイントを学ぶ皆さん
ななめ上から撮影するのがコツとのこと！

また、今回の取り組みのポイントは会議メンバーの皆さんに、普段使う機種とは別の端末を使っていたり、スマホを使い慣れない感覚、初めてスマホを持った時の不安などを再体験することで、身近でスマホの活用に関心を持って抱える皆さんに対する配慮などに気付いていただきます。参加者の皆さんからは「と

高齢者の『移動手段』を考えるきっかけに 電動車いす・カート体験会を開催！！

【ふれあいサロン 野合】

4月25日に「ふれあいサロン野合」さんで電動車いす、電動カート、電動三輪自転車の体験試乗会が実施されました。

この取組は同サロンを主催する推進員さんが企画し、取扱事業者を調整したものです。「いつか移動手段に困る日が来るかもしれない」そんな時に活用できる方法を知る機会となりました。

今回の取り組みは、高齢者の『移動』を“新しい発想”で考える、ひとつのきっかけになったのではないのでしょうか。



電動車いす（中央）と電動カート（左右）を操作する参加者の皆さん

でも楽しかった」という感想のほか「Androidの操作方法を聞きたい」「個別の悩みに答えて欲しい」など、講座形式では解決が難しい点について

【編集後記】

スマートフォンや電動車いすなど、私たちの生活を支える新しい技術が益々身近になっています。しかしながら、高齢者の皆さんがこれを上手に使うためには「誰か」の手が必要になることがあります。

地域支え合い会議はこの「誰か」を『見つける』『生み出す』取り組みを進めています。会議への参加等、ご興味ある方は是非、お問い合わせ下さい。

☎58-966-3411（社協 染谷）

＜topic＞ 『新たなサロンが誕生！』

7月6日、立野自治会に新たなふれあいサロン ひだまりサロン『立野』が誕生しました。週1回、自治会館を開放し、ご近所の皆さんとのおしゃべりを楽しみます。サロンで昼食を取りたい方はサロンの開始時間にお好きなお弁当を注文。お昼までには地元商店から出来立てが届きます。

自治会内に限らず近隣の皆さんが参加できるのもこのサロンの大きな特徴です。

萩島地区にまた一つ笑顔と繋がりを生み出す活動が生まれています。

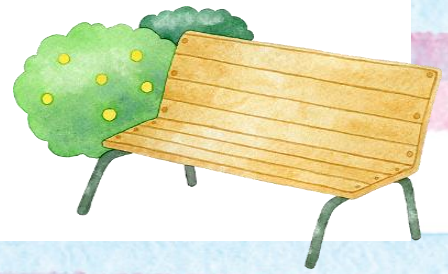


暑い夏は涼しい自治会館で！

の声もあり、今後の取り組みのヒントを得る機会となりました。

増林地区 地域支え合い会議

NEWS LETTER



増林地区地域支え合い会議では、「散歩が地域を知ることにも繋がるのでは?」「歩くことで介護予防にもなるのでは?」と考え、地域をよく知る住民の方ならではの、お散歩に特化したマップの完成を目指して活動しています。

歩いて発見 地域の魅力 お散歩マップ **作成中**

一緒に散歩交流に

10月に行われた第5回地域支え合い会議では、お散歩マップを作成にするにあたり、地区内を散歩する「増林地区を歩こう!」を開催しました。

2日間に分けて増林地区内の4ルートを歩き、トイレやベンチなど、散歩に役立つような情報を集めました。近所に住んでいる参加者に話を聞きながら歩くことで、なじみのない場所に対しても散歩のイメージを膨らませることができました。

これまでの会議では関わりが少なかった方同士も、「一緒に歩くことで会話が弾み、良き交流の機会となりました。」

歩いてみると

11月に行われた第6回地域支え合い会議では、「増林地区を歩こう」の報告を行いました。

参加された方からは、「素敵なところだと聞いてはいたが、実際に来てよかった。自然が豊かで、歩いていて気持ちよかった。」「初めて行った公園もあり、それぞれの特徴を発見することができた。」

総合公園ルート



木々が赤く染まりつつある中
絶好のお散歩日和♪

増林地区を歩こう

東越谷公園ルート



ベンチやトイレを調査中

6つの公園を巡り、いろいろな特徴があることを発見!

中島ルート



雲一つない青空の下
自然豊かで開放的な川沿いを
ゆったりのんびり

花田ルート



新方川沿いには桜の木が69本!
春は桜の名所に



増林の良いところ再発見!

増林の再発見! 地域の新たな発見にも繋がりました。

など、とても好評でした。中には、近くに住んでいても、徒歩で通ったことがなかったという方もいらつしやう、歩くことで、地域の新たな発見にも繋がりました。

今後、これらの発見を踏まえ、お散歩マップの完成に向けて取り組んでいきます。

「興味がある」「一緒に考えたい」と思われた方は是非、お問い合わせください。

越谷市社会福祉協議会

地域福祉課

☎ 966-3461

海和(かいわ)6

NEWS LETTER

県大生と学ぶ スマホ相談会を開催

スマホを楽しく活用するきっかけに

6月から8月の期間、全3回の日程で第1期「埼玉県立大生と学ぶスマホ相談会」を開催しました。

約25名に参加いただき、学生サークル「やどり木」を中心としたメンバー20名に対応いただき、LINEや写真、地図などのアプリの活用方法を学びました。

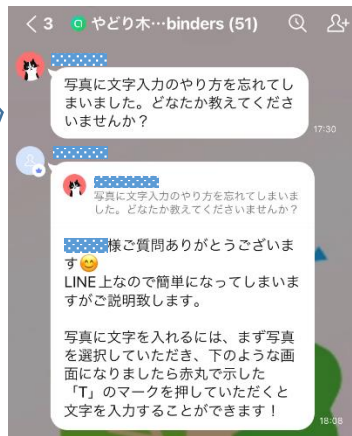


スマホ相談会の様子

学生の話に熱心に耳をかたむける参加者の皆さん

個別相談の時間では「携帯シヨップでは教えてもらえない疑問を聞くことができました」という声もあり、皆さん学生

との交流を楽しみながら、新たな体験ができたようです。現在、第2期（9月～11月）のスマホ相談会を実施しており、今回の成果と課題を検証し、今後の展開に繋がりたいと考えています。



相談会で皆さんが登録したLINEオープンチャット。参加者と学生が交流できる場になっています。

『LINEオープンチャット』とは

LINEの友だちになってなくても、トークをしたり情報をキャッチできるサービスです。グループでコミュニケーションを楽しむツールで、招待を受けることで参加ができる仕組みになっています。

【イオン薬局連携企画】 第2回健康相談会を開催

7月17日にイオンスタイルせんげん台店2階のイオン薬局において、第2回健康相談会を開催しました。

今回は「血管年齢」「骨密度」などの健康測定や薬剤師さんによる相談会に加えて、フィットネススタジオのスタッフにもご協力をいただき



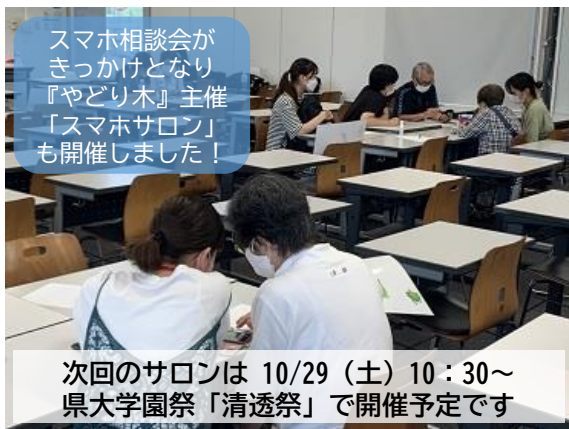
和気あいあいとした雰囲気
軽体操を楽しむ皆さん

「軽体操」のコーナーを設け自宅でできる体操メニューの紹介や健康維持に必要な栄養に関するお話など、楽しく学んでいただきました。

次回の健康相談会は、10月16日（日）14時から、同会場で開催予定です。



【健康測定コーナーの様子】
地域包括支援センター大袋にもご協力をいただいています！



スマホ相談会がきっかけとなり『やどり木』主催「スマホサロン」も開催しました！

次回のサロンは 10/29（土）10：30～
県大学園祭「清透祭」で開催予定です

県立大学の学生さんやイオン薬局さんとの連携により、地域の皆さんの興味や関心が寄せられる「健康」や「スマホ」に関する企画が順調に進んでいます。今後もニーズに沿った様々な企画を展開していく予定です。

地域支え合い会議は、住民の皆さんが主役となって進めていく会議です。「興味がある」「一緒に考えたい」と思われた方、連携してみたいと思われた企業の方などは、是非、会議にご参加ください。

問合せ ☎ 966-3411（社協 染谷）

地域支え合い会議がスタート

取り組みテーマは「気軽に立ち寄れる場所づくり」と「困りごとのお手伝い」に

2022年5月。「地域住民の力で高齢者を支える」をテーマに大袋地区地域支え合い会議が立ち上がりました。



地域支え合い会議参加メンバーの皆さん

この会議は住民の皆さんが主体となって、地域に必要な取り組みの実現に向けて検討を行う場で、越谷市の生活支援体制整備事業の一環として市内各地域で実施されています。

これまでに4回の勉強会を開催し「気軽に立ち寄れる場所づくり」や「困りごとのお手伝い」の必要性のほか、商店街の喫茶店や個人商店など、有効活用できそうなスペースがある点について、皆さんで検討し、情報を共有することができました。

第1回地域支え合い会議では、「気軽に立ち寄れる場所」の利用者をイメージし、各年代ごとの興味や関心のある内容について意見出しを行いました。

今後の企画実現に向けて「学生と連携ができれば」「美容室がご近所の皆さんのサロンになっている」など、会議メンバーの皆さんから貴重な意見が寄せられました。

D 今はないが、今後あったらいいなと思うこと

自治会館 (袋山第5)	送迎サービス (病院、買物等)	「ふらっと」おおぶくろでの 介護福祉相談や勉強会
お年寄りへのIT教育	子どものふれあいの場	郵便ポスト
気軽に立ち寄れる場所	コンビニ	手続き等の代筆、代読
地域の共通認識	多目的スペース	ファミリーレストラン
災害緊急連絡網	老人福祉センター	防災避難組織
移動販売 (予防強化した) イベント	総合病院	喫茶店
	貧困家庭の支援	シニア専門カラオケ店 (コロナの時代のあとの)
	通りの監視カメラ	ゴミ当番

↑ 大袋地区の「望み」(あったらいいなと思うこと)【第2回勉強会のワークより】

→ 「望み」の中から住民の力でできる活動に絞り込む【第3回勉強会のワークより】

住民の皆さんが主役！
大袋地区地域支え合い会議
立ち上げの「あゆみ」

○第1回勉強会(2020.8)

- ・事業概要説明
- ・今後のスケジュールについて

○第2回勉強会(2020.11)

- ・地区の概況把握
- ・目標設定に向けたワーク
「地域の望み」

○第3回勉強会(2021.7)

- ・目標設定に向けたワーク
「住民主体でできること」

○第4回勉強会(2021.11)

- ・有効活用できる場の検討
- ・支え合いの必要な方の事例共有

○第1回支え合い会議(2022.5)

- ・企画検討のワーク「年代別の興味・関心」



学生からの企画案!! 高齢者の「居場所づくり」 のヒントをいただきました!

地域支え合い会議で意見が挙がった「学生さんとの連携」の第1弾として学生ボランティアの皆さんから「居場所づくり」の企画を提案いただきました。

今回協力をいただいたのは 問わない、たくさんの企画提
IVUSA埼玉越谷支部の皆さん。案がありました。

埼玉県立大学、文教大学の学生等のメンバーを中心に多分野にわたって、様々なボランティア活動行っています。

活動経験を活かした柔軟な発想で大小・分野を



オンラインで行った会議の様子(5月29日)
寄せられた企画数は40を超えました

地域支え合い会議は、住民の皆さんが主役となって進めていく会議です。

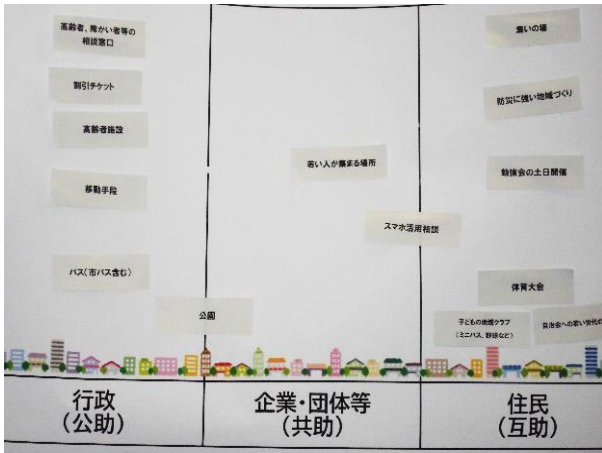
「興味がある」「一緒に考えたい」と思われた方は是非、会議にご参加ください。

【今後のスケジュール】

日時 8月19日(金)
午後2時～
会場 北部市民会館
第3会議室
問合せ ☎966-3411
(担当 染谷)

住み慣れた地域で暮らし続けるために。

令和4年4月18日(月)、2回の勉強会を経て蒲生地区地域支え合い会議が立ち上がりました。地域支え合い会議は、住民の皆さんが主役となって「自分の地域にこんなものがあたらいいな」「こんなことに困っている人が居るから何とかしてあげたい」という思いを具体的に形にし、取り組むことを目的としている場です。



▲グループワークで仕分けた意見

第一回会議では、勉強会のワークの中で出た「今はないが、今後あたらいいなと思うこと」の中から、住民主体で出来ることを考えました。仕分けられた意見では、「集いの場」や「若い人の地域活動への参加」などが出来る事として挙がって

「蒲生地区地域支え合い会議」がスタート!

おり、世代間交流に関心のある方が多い地区であることも見えてきました。



▲第一回会議に参加してくれた皆さん

何が出来るか？ まずは手の届く範囲から

蒲生地区地域支え合い会議は、3カ月に1回のペースで第2月曜日に開催しています。7月11日(月)に行われた第二回会議では、第一回の会議で出てきたキーワード、「集いの場(居場所)づくり」「多世代交流」

を組み合わせるとどんなことができるか？始められることは何だろうか？を皆さんと一緒に考えました。

こども食堂やイベントの実施など、様々な意見が出ましたが、それらを実施するためには居場所が必要であるということ共有することができました。

コラム

こども食堂って何だろう？

こども食堂とは、こどもが1人でも行ける無料または低額の食堂です。こどもの貧困対策と、地域の交流拠点(場所によっては大人や高齢者も対象にしています)の役割を担っており、地域住民や自治体が主体となって行っている活動です。この8年間で全国3,700カ所を超え、越谷市内にも、約10カ所のこども食堂があります。

編集後記

蒲生地区地域支え合い会議は始まったばかりで、これから地域の皆さんと取り組んでいく活動です。地域づくりに興味がある、会議に参加してみたい方はぜひご連絡ください！(黒沢)

目標の候補

- ①お祭り (イベント)
- ②通いの場
- ③支え合い活動



地域支え合い会議のポイントである「**住民主体**」をキーワードに、「あったらいいな」と思う地域資源を仕分け、分類しました。

私たちに何が
できるだろう？



令和4年3月、第1回北越谷地区地域支え合い会議が開催されました。それまでに2回の勉強会も開催され、北越谷地区の概況について学び、グループワークにも取り組んできました。

住民で考える地域づくり

地域支え合い会議

スタート!

目標を設定する上で、地区の特徴を踏まえることが重要に。北越谷地区は、ふれあいサロンやサービスマなどの「通いの場」が多くあり、それらをベースに考えてはどうか、との意見が多くありました。

地域の通いの場を
より活発に!



グループで話し合い、仕分けた結果を発表しました。

地域支え合い会議と 地域支え合い推進員

地域支え合い会議の立ち上げに際して、会議の旗振り役として地域支え合い推進員を住民の方にお願ひしており、北越谷地区では、様々な地域活動に取り組んでいらっしゃる宇野さん、十河さんのお二人に引き受けていただきました。これから目標の達成に向けて、皆さんで協議を進めていきましょう!



お二人はさくらサロン(ふれあいサロン)も運営されています。



さらに協議を進めていくと「通いの場は多いが、それを知らない人も多い」との意見が多く挙がり「**通いの場の活用促進を**目指す**イベント**」が目標になりました。また、「自治会の力なしで地域福祉や支え合いを考えるのは難しいのでは」「ぜひ自治会長にもこの会議のことを知ってほしい」との声が多く挙がっていました。

目標の設定について、活発な意見交換ができました。





2022.6.9 地域支え合い会議(グループワーク)

南越谷地区地域支え合い会議では、「世代を問わず関わり合える取組み」をテーマに話し合いを進めています。
6月の会議では、若い世代(15〜64歳)の地域参加を叶えるためのアイデアを共有するグループワークを行いました。

地域の望み 『多世代交流』 を叶えるためには？

「若い世代の方は仕事や子育てに忙しいが、自分の時間を費やすことにメリッ



“まとめシート”に貼り付けられた、会議参加者さんのたくさんのアイデア

- ### 『テーマ』
- ① 若い方がなぜ地域活動へ参加しないのか？
 - ② 参加を叶えるための工夫や取組みは？

トを見出せれば参加するのではないか。」「平日頃から若い方へ歩みより、挨拶や声掛けから始めると良いのではないか。」など前向きな意見が寄せられました。また、「若い世代の方は、実際に自分の住む地域について、どのように考えているのかを知りたい。」との

意見もあり、今後の話し合いの焦点になりそうです。



グループごとに発表しました

11

【今後のスケジュール】
日時 9月8日(木)14時〜
場所 南越谷地区センター
問合せ ☎966-3411
(社協 小林)

『多世代交流』集計結果

～若い世代の地域参加を叶えるためのアイデア出し～

①若い方は、なぜ地域活動へ参加しないと思いますか？

- 1位 仕事や子育てに忙しく時間に余裕がない 23票
- 2位 近所付き合いが苦手で仲間がない 16票
- 3位 地域に関心や必要性、メリットを感じない 12票

《その他》

- ・必要な情報はインターネットで調べられる
- ・地域以外でのつながりや趣味がある
- ・世代間交流の場がない
- ・個人で楽しめるものがある
- ・役員をやらされそう



②参加を叶えるためには、どんな工夫や取組みがあると良いと思いますか？

- 1位 参加したいと思えるようなイベントの開催 13票
- 2位 近所への挨拶、声掛けから始める 12票
- 3位 子どものレクリエーションイベント 9票

《その他》

- ・交流して楽しかったと思える体験をしてもらう
- ・とにかく1度行事に参加してもらう
- ・若い方へ歩みよる、若い方に企画・運営してもらう
- ・若い力を生かす
- ・役員の負担軽減システムづくり